

平成23年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名

軽井沢高等学校

課程 (全・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通)

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成23年11月8日(火)						
実施年月日(曜)	平成23年11月2日(水)						
授業時間(時限)	10時55分～11時45分(3時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	3学年 国語(古典)						
授業者名	湯本 いずみ						
形態	教育実習・○初任研・10年研・その他() (○をつける)						
授業公開対象者	中高教員						
授業参観者数	校内		校外			その他 ()	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	7人	人	2人	人	人	0人	9人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	HPに掲載 東信地区の中学校、高等学校に案内状をメール送信した。 受付の設置(校舎案内図を配付)、参観者へ資料配付(指導案・配付プリント等)						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	〈時間〉11時55分～12時45分 〈研究会参加者〉学校長、教頭、専門主事、国語科教員5名(校外1名を含む) 〈感想・意見〉 ・発問の仕方の工夫。 ・導入部分で前時の復習をする際、フラッシュカードを使ったのは良かった。 ・生徒がお互いに学び合う場面が多くあることが良かった。 ・古典嫌いの生徒が増えているため、これからも生徒の活躍できる場を作っていってほしい。 ・プリント学習をする際は生徒がきちんと書いているか、もっと確認すると良い。 ・生徒と良好な関係が作られていることを感じた。						
成果と課題	〈授業者の感想〉 多くの先生方からご意見をいただき、自分では気づくことのできない部分を認識することができた。日頃、教師側からの一方的な授業にならないように気をつけているが、これからも発問を吟味し、生徒とやりとりしながら、共に授業を作っていきたい。また、生徒が古典に少しでも興味をもてるよう補助教材等をさらに工夫していきたい。						



ただいま、音読中



個別指導中